

令和2年度

応神小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎学力定着のために、個別・繰り返し学習に取り組む。
- 主体的な学びと、思いを伝え合う授業に取り組む。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	教頭 研修主任	榎本 野口	久美 弘子
教務 長尾 博子		人権教育主事 特別支援コーディネーター	高下 近藤	裕史 明美

校長  
西條 明宏 

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等で取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に真面目に取り組む、学習内容を習得しようと努力できる。 ●正確に計算したり、文章の内容を理解したりすることに課題がある児童がいる。	・学年相応の漢字の読み書きや基礎的な計算が正しくできる。 ・語彙が増える。 ・文章の内容を正しく理解する。	・学校独自の学年別漢字テストを全校で実施する。 ・朝の活動時や授業時間内に計算学習や辞書の活用、言葉遊びや音読を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○気の合う友達や少人数のグループでは、自分の考えが伝えられる。 ●必要な情報を選んだり、自分の考えを表現したりすることに課題がある児童がいる。	・自分に必要な情報を選び、自分の考えを絵や文でまとめられる。 ・相手に分かるように自分の考えを話したり書いたりする。	・自分の考えをまとめる時間を設定し、まとめ方を具体的に提示する。 ・自分の考えが伝え合える人間関係を構築する。 ・考えを伝え合う時間・場を設定する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○興味・関心のある学習には一生懸命取り組める。 ●自分で学習準備をしたり、課題を追求したりすることに課題がある児童がいる。	・授業や家庭学習に主体的に取り組める。 ・自分で必要なものを準備したり、準備出来ないことをお願いしたりできるようにする。	・学習に興味をわくような教室環境をつくらせたり言葉かけをしたりする。 ・家庭学習のてびきや自主学習のやり方を配布し、定期的に点検する。			

令和2年度 学力向上ロードマップ



